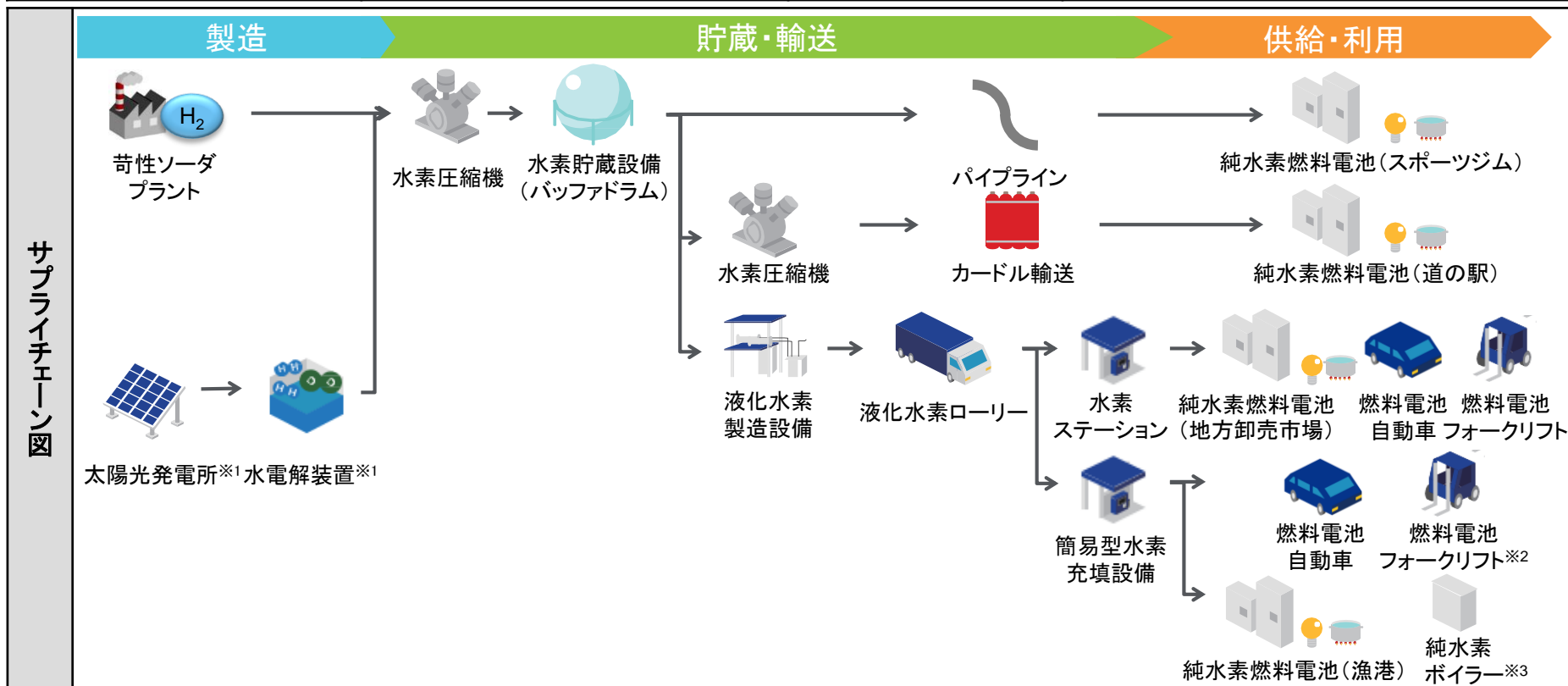


苛性ソーダ由来の未利用な高純度副生水素を活用した地産地消・地域関連携モデルの構築(山口県周南市及び下関市、実施代表者:トクヤマ)

実証概要とサプライチェーン図

<p>概要</p>	<p>本事業は、山口県周南市に立地する苛性ソーダ工場から発生する未利用で高純度な副生水素を回収し、地域で多面的に利用する地産地消の水素需給モデルに加え、まとまった量の水素を液化して広域にも供給するモデルを構築するものである。令和2年度から、水素量補完のための再エネ由来水素製造、および純水素を燃料とするボイラーの活用を開始した。</p>		
<p>事業場所</p>	<p>山口県周南市及び下関市</p>	<p>事業期間</p>	<p>平成27年度～令和3年度(予定)</p>



※1 太陽光発電による水素製造開始は令和2年度、※2 下関漁港施設の燃料電池フォークリフト運用は令和元年度まで、※3 下関漁港施設の純水素ボイラー設置は令和2年度(トクヤマ実証事業資料より作成)